

オオナガレトビケラ *Himalopsyche japonica* (Morton)

【選定理由】

幼虫が山地激流部を好むため、愛知県内での生息適地は極めて限定される。個体数は多くないと推定され、生息環境の保全が必要である。

【形態】

雄成虫の前翅長は 16～23.5mm、雌は 22～26mm。前翅は茶褐色の不規則な淡色斑紋がある。終齢幼虫の体長は 15～37mm、頭部の大部分と前胸は農褐色の斑紋で覆われ、中胸と腹部は濃緑色。中胸と後胸および腹部第 1～8 節の側面によく発達した気管鰓を持つ。また、中・後脚の基部に指状鰓を持つ。幼虫は巣を作らないが、蛹化期に荒い砂粒でドーム型の固着巣を作る。



【分布の概要】

【県内の分布】

設楽町呼間川と豊田市稲武町井山川でしか確認されていない。

【国内の分布】

本州および四国で生息が確認されている。

【世界の分布】

台湾および日本に分布する。

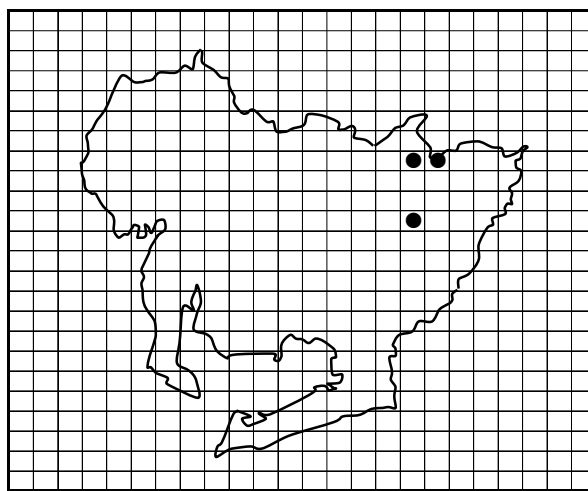
【生息地の環境／生態的特性】

山地の急勾配で大岩からなる激流に生息する。成虫は春から秋まで出現するが、基本的に年 1 化といわれている。

【現在の生息状況／減少の要因】

生息環境が山地で流量が豊富な激流部であるため、産地は局限される。愛知県には本種の生息適地が少なく、さらに治水工事などにより河床の勾配が低下するなどして生息環境は悪化していると考えられる。

県内分布図



【保全上の留意点】

治水工事やダム建設時には、可能な限り生息環境を保全するように努める。

【特記事項】

*Himalopsyche* オオナガレトビケラ属で日本に生息しているのは本種のみである。年間を通して水温が低く、流量が安定かつ豊富な山地激流部に生息地が限定されるため、人為的な改変が施されていない環境水域であることを示す指標生物として利用される。

【関連文献】

Tsuruishi T., 2003. Life cycle of a giant carnivorous caddisfly, *Himalopsyche japonica* (Morton) (Trichoptera: Rhyacophilidae), in the mountain streams of Nagano, central Japan. *Limnology* 4: 11-18.

鶴石 達, 2004 オオナガレトビケラの分布と生活史. *昆虫と自然* 39 (6): 23-25.

Tsuruishi T., 2006. Life cycle of *Himalopsyche japonica* (Morton) (Trichoptera: Rhyacophilidae) in two high mountain streams in Nagano, central Japan. *Hydrobiologia* 563: 493-499.

(西本浩之)